

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人 口
7,909人
世帯数
3,265世帯
令和4年6月現在

三年ぶりの対面形式

コミュニティ協議会総会



4月17日(日)、五常小学校体育館にて、五常校区コミュニティ協議会ならびに自主防災会総会が開かれました。

過去二年間は、感染症拡大防止に重きを置き、書面表決の形式を取りましたが、ここ最近では沈静化の兆しが見られることから、対面

総会を再開。

各自治(理事)会、専門組織(防犯協議会、PTAなどの)の代表者、および

コミュニティ役員、総勢39名が一堂に会し、決算報告、活動計画・予算の承認等を行いました。活動計画の内、今期のイベントは左記の日程を予定しています。

◎**五常文化祭**(10月30日)

◎**とんど祭り**(1月8日)

◎**防災フェスティバル**(2月26日)

「夏祭りについては、依然として飲食の提供が困難と判断し、後日の役員会にて中止を決定」

これらのイベントは、専門業者の助けを借りず、企画から実施まですべて手作りで行っています。

近隣の方々と、きずなを深める場でもありますので、引き続きご協力にご参加下さいますよう、よろしく願いいたします。

【収入の部】

収入科目	予算金額
前年度繰越金	218,314
枚方市校区コミュニティ補助金	1,171,000
コミュニティ活動費	500,000
安全部門活動費	300,000
枚方市防犯協議会補助金(*)	0
事業収入(夏祭り、とんど祭り等)	1,000,000
雑収入	5,000
合 計	3,194,314

* 歳末特別警戒所補助金廃止

【2022年度 予算】

【支出の部】

支出科目	予算金額
広報費	340,000
事務費、研修費他	195,000
安全部門活動費	110,000
備品費、修繕費他	180,000
事業費(夏祭り、とんど祭り等)	1,440,000
自主防災活動(自主防災会へ)	300,000
小地域ネットワーク活動(**)	500,000
特別積立金、予備費等	129,314
合 計	3,194,314

** 校区福祉委員会へ

【中止】 五常夏祭り



来年こそは...

2022年度

五常コミュニティ協議会役員

会長	上野 精順
副会長	光岡 和彦(行事担当)
	倉 洋子(青少年部会)
	宮路 美佐(福祉部会)
事務局長	岡田 満
書記	磯部 智子
会計	窪田 哲也
幹事	田中 章子
	河上 勲
	平尾 守
	尾上 敏幸
	西岡 大輔
会計監査	山内 佳与子
顧問	栗野 恵美子
	大槻 哲也・元市議会議員
	野村 生代・前市議会議員
	神 正文・五常小学校校長
相談役	野々村 亘・前会長

見守り人アプリ



去る5月3日、市内の女子小学生を下校中に誘拐殺害する旨の犯行予告メールが、枚方市役所に届きました。

五常小学校では、メールに予告されていた6日(金)と、さらに9日(月)にも集団下校を行うなど、警戒体制を強めた結果、幸い被害は防ぐことが出来ました。

ただ、子どもたちが楽しみにしていた週末のイベントが中止になるなど、各方面への影響は少なくありませんでした。

新聞等で大きく報じられた事件以外にも、行方不明届が出された10歳未満の児童の数は、年間1,000人に上ります。(*)



このような状況を受け、枚方市では関西電力送配電(株)と提携、見守りシステム「OTTADE!」の導入を開始しました。

*「令和元年における行方不明者の状況」(警察庁生活安全局生活安全企画課)

子どもたちが身につけた専用端末から発信される信号を基地局でキャッチし、もしも事故や犯罪に巻き込まれても、早期に所在を特定することが出来るシステムです。



見守り端末

基地局には、学校やコンビニ等に設置される固定基地局以外に、「見守り人」アプリをインストールしたスマホなどの移動基地局があります。

基地局の増加が、情報精度の向上、ひいては犯罪の抑止力になることから、校区の皆さまにご協力をお願いしています。具体的には、お持ちのスマホにアプリをインストールし(無料)、見守りを開始するだけです。

もしもご賛同いただける方がいらつしやいましたら、左のQRコードから見守り人アプリをダウンロードしてみてください。

iPhone 版



android 版



給食補助



4月15日〜28日の2週間、五常小学校からの依頼を受け、豊富なママさん経験を誇る当コミュニティ協議会の女性役員たちが、新入生の給食補助にきました。入学したてで、給食に不慣れな一年生たちの、片づけのお手伝いです。



手取り足取り、教えます

小学校の給食時間といえば、わいわいがやがや、にぎやかなイメージですが、コロナ禍以降、パーティションで机を覆い、黙食する規則になっているので、とても静か。牛乳を口に入れた途端、いきなり変顔を見せられて、「鼻から牛乳〜」というようなことは起こりそうにありません。

友だちとおしゃべりしながらの食事、学校生活の醍醐味なのに、少しかわいそうですね。



手取り足取り、教えます vol.2

とはいっても、みんなしつかりおかわりもしていて、頼もしい限り。そのうち元氣な笑い声はじける、騒がしい給食風景が見られるに違いありません。「鼻から牛乳〜」も、いちどは経験して欲しいものです。50年たっても忘れられない、いい思い出になりますよ。



最後はみんなで、お片づけ

ホタル再び



まだ肌寒さが残る3月9日、五常小学校内にあるビオトープ(愛称:「ごじょトープ」)で、ホタルの放流が行われました。

その任に当たったのは、飼育委員会(4年生から6年生)。

事前に「五常小をホタルの郷に」実行委員会の方から、注意事項の説明がありました。

ホタルの幼虫は、ふだん5℃、15℃の水の中で暮らしているのに、ヒトの体温は約35℃。

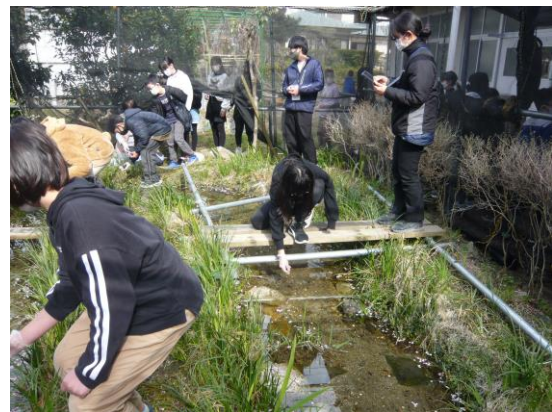


ホタルの幼虫とカワニナ(貝)

直接触られるのはホタルにとって、罰ゲームで熱湯風呂に落とされるようなものです。従ってホタルに触れる際は、必ず手袋を着用しなければなりません。

その後、支給されたビニール手袋を着けて、「ごじょトープ」の中に入り、思い思いの場所でホタルの

幼虫とエサになるカワニナを放流しました。



水辺でそっと、手を放します

幼虫は、しばらく水の中で過ごしたあと、気温と湿度が上昇し始める4月初旬に陸へ上がり、土にもぐって繭(まゆ)を作り、その中で蛹(さなぎ)になると、上陸後約7週間で羽化します。



水面に浮かぶ、梅の花びら

そして、時は流れて5月28日。希望の今季第一号のホタルが観察されました。ただし今はまだ、ひと晩に2匹くらいが、ちらほら灯をとますだけ。

ホタルの活動には、湿度が高く蒸し暑いくらい環境が適しているそうなので、「ごじょトープ」が緑の光で満たされるには、もう少し時間がかかるかもしれません。



日ごと、光は増えています(6月7日撮影)

6月10日には、五常小の生徒と保護者限定ではありますが、三年ぶりのホタル観賞会が開催されます。入学以来一度も見たことがない低学年の子どもたちのためにも、その日は絶好のホタル日和であって欲しいものです。

ゆでる？ゆでない？



これから夏にかけ、お腹を満たせて涼も取れる、素麺(そうめん)ほど貴重な食材はありません。

その素麺を、ゆでずに調理するという驚きの動画をYouTubeで発見し、早速試してみました。

① たつぷりのお湯を沸騰させる

② 素麺を投入

ここまでは、別段いつもと変わりません。ところが、

③ 再沸騰したら、鍋にフタをして、火を止める

④ 5分待つ

これで、時間を置いてもダメにならず、おいしく食べられる素麺の完成です。

たしかに食感がやさしい印象は受けますね。うどんでも、コシが強過ぎるのはどうも、という方にはオススメでしょう。

ただ、ラーメンはバリカタでないと承知できん！という人には、ちよつと物足りないかも。要は好みの問題でしょうね。

それにしても、今まで疑うことすらしなかった常識に、思いもかけぬ一石を投じてもらえるのは、実に有り難いことです。

煙突山さくらだより

4月2日の土曜日、煙突山(妙見山配水池)で、さくらまつりが開催されました。満開予想日が3月30日だったので、かなりドンピシャなタイミングでした。

今年は、枚方観光協会主催のイベント「枚方えとごどりウォーク」の御一行が朝早くから、煙突山を埋め尽くす勢いで押し寄せられたので、いつも以上ににぎやかな会場風景になりました。

なにより煙突山の桜が、「えとごどり」に入っているのがうれいですね。

この日の来場者数は、先の団体



御一行様、ご案内!

入場者38名を含め458名。カウンターによる集計を開始して以来、最多を更新しました。

曇りがちのお天気だったのも、暑くなり過ぎず、かえって良かったのかも知れません。

いい運動になるとはいえ、入口の鉄扉をくぐるとすぐに始まる上り坂が、かなりの急勾配なので、受付での検温の際は、ほぼ皆さん荒い息。



大煙突の来歴に、耳を傾けて

ひよっとすると、五常会館側の裏手の入口を使った方が、若干楽かもしれません。桜はありませんが、秋にも一日だけ、煙突山は開放されます。枚方市人権政策室による、戦争遺跡・大煙突の説明会も、今回同様です。

動の中で命を落とされた16名の消防関係者の慰霊のために建てられたのが、この殉職記念碑です。場所は杉田口禁野線(旧枚方長尾線)沿い、市立ひらかた病院の東隣。

殉職記念碑



昭和14(1939)年の3月1日、禁野火薬庫の爆発事故が発生し、死者約100名、家屋の全半壊焼800戸以上という大惨事となりました。

繰り返す爆音と地響きは、京阪神一帯に届いたそうで、少年時代に神戸で実際に体験したという、身近な古老の口からも、よく聞かされたものです。それから一年後の同日、消火活

ことから、枚方市では平成元(1989)年、この日を「枚方市平和の日」に制定し、戦争と平和について考えるきっかけとなる様々な平和啓発事業を実施しています。

付近には、ほかに戦争遺跡が点在しており、枚方市制作の動画「ひこぼし」と巡る枚方の戦争遺跡に、交通手段も含め、分りやすく案内されています。煙突山も紹介されていました。



編集後記

残念ながら、今年も夏祭りの開催は見送りました。秋以降のイベントの中に、夏祭りの趣向が盛り込まれないか、現在模索中です。(広報委員会)